

第6章 計画の推進に向けた数値目標と評価検証

1. 計画の目標・効果

(1) 目標指標と目標値の設定

本計画に基づき、森町版「コンパクト+ネットワーク」の都市構造を実現していくにあたり、今後、検討・実施する施策等の効果を分析・評価するため、「目標指標」を設定します。

併せて、目標指標の目標達成により「期待される効果」を設定します。

① 社会移動の均衡、居住誘導区域内の人口割合の増加

町全体の暮らしを支える都市機能の維持や、新たな都市機能の誘導など中心拠点の魅力向上、まちなか居住促進等に係る施策により、都市機能や公共交通が便利な地区に緩やかに人が集まり、住み続けられるまちを目指します。

目標指標	現況値：2015年	目標値：2040年	数値の把握方法
「転入者数」 — 「転出者数」	-73人	+0人以上	住民基本台帳
都市計画区域内人口に対する まちなか居住促進区域内人口の割合	29%	29%以上	国勢調査をもとに GISを活用し推計

② 町全体の暮らしを支える都市機能の維持

まちなか居住の促進や、公共交通の利便性向上等により、町を維持していくうえで欠かせない施設として、町民コミュニティ形成の根幹となる学校や健康な暮らしを支える病院の維持を図ります。

目標指標	現況値：2019年	目標値：2040年	数値の把握方法
まちなか居住促進区域内の公立病院数	2*1	維持	—
まちなか居住促進区域内の 子育て・教育施設数	5*2	5以上	—

*1 公立森町病院・森町家庭医療センター

*2 森小学校・森幼稚園・摩耶保育園・子育て支援センター・遠江総合高校

③ 多様な交通手段の利用の増加

各種生活利便施設が集積するコンパクトで利便性の高い市街地の形成や、公共交通の利便性を高める取組等により、自動車に頼りすぎないまちづくりを目指します。

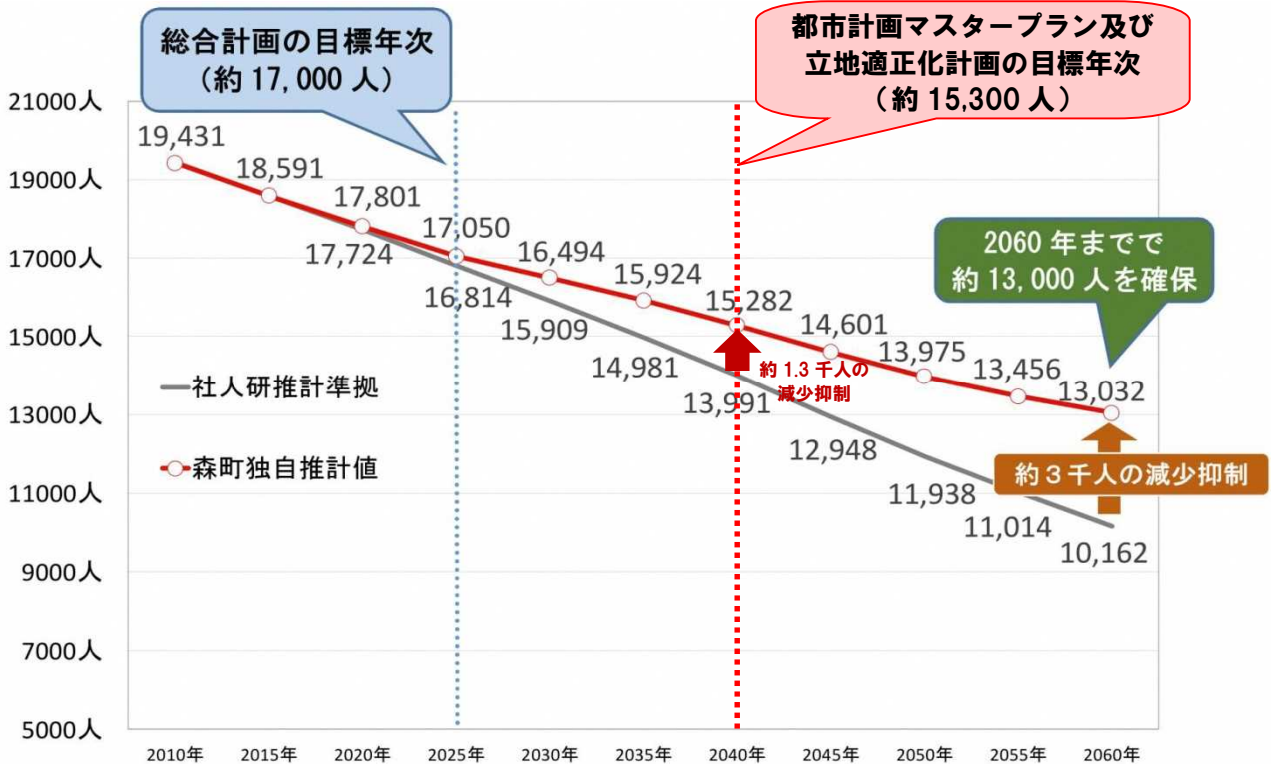
目標指標	現況値：下記括弧内は調査年	目標値：2040年	数値の把握方法
自動車以外の交通手段分担率	19% (2010)	19%以上	国勢調査、PT調査等
バスを「利用する」割合	20% (2016)	20%以上	町によるアンケート等

(2) 期待される効果

① 人口の将来展望の実現に寄与

本計画の推進により、2040年における、人口ビジョンと社人研推計値の差分である約1,300人の人口減少を抑制し、人口ビジョンで目指す将来展望の実現に寄与する効果が期待されます(2060年には約3,000人の人口減少抑制という目標)。

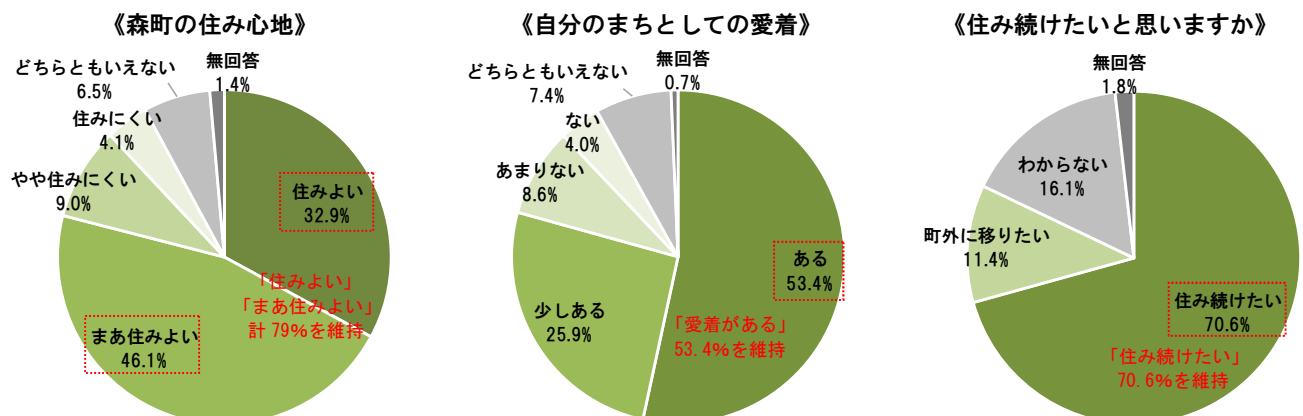
■ 森町人口ビジョンによる人口の将来展望と目標年次人口



② 住みやすさ等の評価を維持

まちなか居住促進区域に、町全体の生活を支える都市機能や、都市機能を支えまちに活力を生む居住機能を誘導していくことで、町民の住みやすさ等への評価が維持されていくことが期待されます。

■ 町民の住みやすさ等への評価 (出典：森町第9次総合計画 アンケート対象は15歳以上町民2,000人)

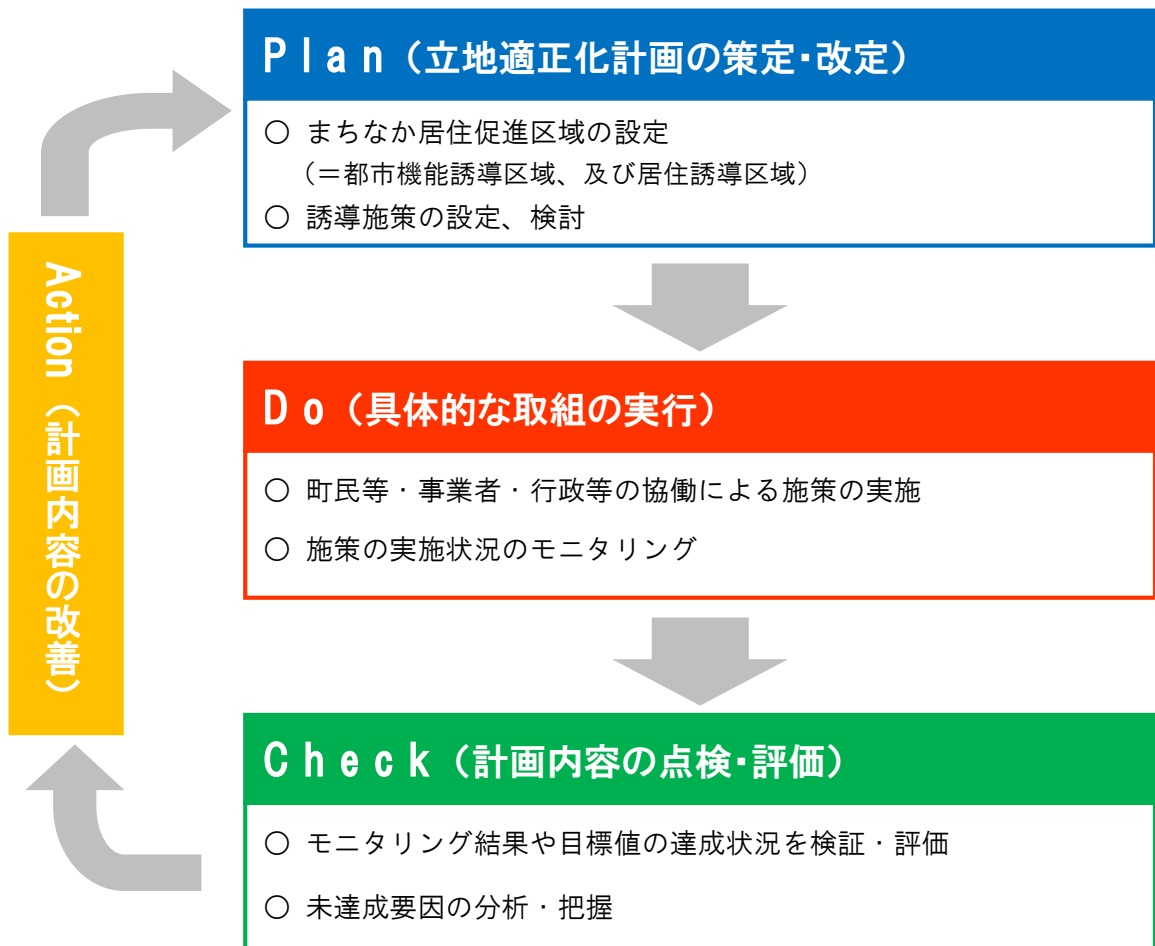


2. 計画の評価検証・見直し

「森町立地適正化計画」は、森町都市計画マスタープランのアクションプランとして、長期に渡り、継続的な取組が必要となりますが、計画期間中に社会経済情勢の変化などが起きた場合、適切に対応していく必要があります。

このことから、P（計画）・D（実行）・C（点検・評価）・A（改善）サイクルにより、計画の適切な進捗管理に努め、本計画による効果的なまちづくりを目指します。

■ PDCAサイクルによる計画の進捗管理のイメージ



森町立地適正化計画

2020年3月策定

編集・発行： 森町 建設課

〒437-0293 静岡県周智郡森町森 2101-1

TEL：0538-85-6322

FAX：0538-85-4419

E-mail：kensetsu@town.shizuoka-mori.lg.jp

URL：https://www.town.morimachi.shizuoka.jp/

